

# 東葛地区少年サッカー大会

## 3年生大会（8人制）実施要項

趣 旨	将来をになう少年たちのサッカーへの興味・関心を深め、さらに技術の向上と健全心身の育成・発展を図ることを目的とし、東葛地区少年サッカー連盟・加盟チームの全てが参加できる大会として本大会を開催する。この大会は、少年たちがサッカーを通じて身体を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強くそして想像力豊かな人間の育成を目指すものである。
名 称	東葛地区少年サッカー大会 3年生大会（8人制）
主 催	東葛地区少年サッカー連盟
主 管	東葛地区少年サッカー連盟（流山市地区・野田市地区）
後 援	読売新聞、千葉北部、西部読売
参加資格	東葛地区少年サッカー連盟に加盟登録した団体（チーム）で、所定の用紙にて本大会参加申込み手続きを終えたチームであること。上記団体（チーム）に所属する選手である事。参加は1クラブ複数チームでも可とするが、当該学年未満のみで構成されたチームの参加は認めない。 <u>エントリー終了後の選手の入れ替えは認めない。</u> 参加費 3,000円（1チーム）
期日及び 会 場	予選リーグ戦 5月～10月18日（火）迄に各主管チームにて、終了の事。 決勝トーナメント戦 平成28年10月 30日（日） 野田市スポーツ公園 平成28年11月 13日（日） 河川敷サッカー場
チームの 構成と条件	予備日 11月6日（日）・19日（土）野田市スポーツ公園・おおたかの森スポーツフィールド チームの構成は引率指導者3名以内、選手16名以内である事。（予選は除く） A) 引率者は当該チームを掌握指導し、責任ある指導者である事。 B) 選手は健康であり、かつ保護者の同意のあるものに限る。 C) 参加チームはスポーツ傷害保険に必ず加入している事。 D) 参加チームは、審判員2名を帯同している事。
競技規則	① 8人制サッカーとする。試合時間は30分間（前・後半各15分間、ハーフタイムは5分）とする。 ② 予選リーグ勝点方式（勝：3点・分け：1点、・負：0点）勝点が同じ場合は、得失点差、総得点、直接対決成績、さらに決しない場合は3人によるPK方式で決める。 ③ 決勝トーナメント戦の引分けはPK戦方式で決定する。但し、決勝戦は10分（5分ハーフ）の延長戦を行い、なお決しない場合は3人によるPK方式とする。 ④ 参加クラブは年度始めに大会参加申込書（所定用紙）を必ず提出の事。 ⑤ 複数エントリーチームは、抽選日以前の定められた期日までに事務局へメンバー表を提出し、試合毎に「事務局へ提出したメンバー表」と同じものを主管チームまたは主管地域へ提出し、メンバー確認を行う。 複数エントリーチームの新規追加選手については、会場責任者に「エントリー選手追加願い」を提出し、承認を得る。控えは毎試合持参する。（予選リーグのみ適用） ⑥ 選手はいかなる理由であっても、チームをダブって出場する事は出来ない。 ⑦ 選手の交代は、予選リーグ戦は選手全員がベンチ入りでき、自由な交代を適用する。 (一度退いた競技者も再び出場でき、何回も交代可能とする) 決勝トーナメント戦でのベンチ入りできる選手は16名と指導者3名とする。 ピッチでの練習も同様とする。 交代の方法は、交代して退く選手は交代ゾーンからフィールドの外に出る。交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り競技者となる。

交代は、インプレー中・アウトプレー中に関わらず行う事が出来る。

但し、ゴールキーパーは、試合の停止中に主審に通知した上で交代が出来る。

⑧ 予選リーグ 1 位、 2 位のチームにて決勝トーナメント戦を実施する。

⑨ その他のルールは 2016 年度（公財）日本サッカー協会の競技規則に準ずる。

但し、以下の項目については、特に本大会規則として定める。

⑩ A)ピッチサイズ：長さ 55 ~ 60 m 幅 40 ~ 50 m

但し、試合会場の大きさにより変更は可能とする。

B)ペナルティーエリア：12 m

C)ペナルティーマーク：8 m ・ペナルティーアークの半径：7 m

D)ゴール：内のり縦 2.15 m、横 5 m

E)ゴールエリア：縦 4 m ・センターサークル：半径 7 m

F)交代ゾーン：ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに 6 m の交代ゾーンを設ける

ハーフウェーラインを挟んで 3 m づつ

（B ~ F ・ やむなく使用会場のサイズを適用する事もある）

G)ボール： 4 号縫いボール

H)スパイクは使用可（ただし固定式）、すね当てを着用する。

⑪ 決勝トーナメント進出チームは自チーム最初の試合時までにエントリー表（最大 25 名）、メンバー表（3 部）を提出し、メンバー表は試合毎に提出する事。

試合の ① 予選リーグの審判は試合を行っていないチームが行う。

運営方法 ② 決勝トーナメント戦の第 1 試合目は第 3 試合目の両チームが責任をもって審判する事。以降は試合が終了した両チームが責任をもって審判する事。但し、決勝戦は 3 位チームで行う。

③ 審判は試合前の打ち合わせを、該当する試合前の 30 分前から始める事。

又、試合後は報告を主管チーム責任者に報告し、主管クラブは予選リーグ終了後速やかに、東葛連盟・事務局に文書で報告（メール可）の事。

④ 予選リーグ戦の選手のベンチ入りは自由とするが、決勝トーナメント戦はエントリー表に記載された選手 16 名以内、指導者 3 名以内とする。

⑤ 決勝トーナメント戦ピッチの試合前の練習はエントリーされた 16 名と指導者 3 名までとする。（決勝トーナメントより、試合毎にメンバー表を 3 部提出する事）

⑥ 累積警告 2 回は、次の試合は出場停止とする。退場の場合は、次の 1 試合を出場停止とする。

⑦ 怒鳴ることがないようにしましょう（保護者や応援の人は指示をしない）。

⑧ ケガについて応急処置は行うが、その後は各チームの責任において行う事。

⑨ 参加チームはユニホーム正副 2 着を用意する事（GK ・ ストッキング含む）。

⑩ 会場内は全て禁煙とする。喫煙所が指定されている場合はそれに従う事。

⑪ 会場へは公共交通機関を利用して下さい。やむを得ず車利用の場合は、1 チーム 5 台以内とし、車のフロントにチーム名を必ず記載する事（厳守）。

表彰 1 位から 3 位まで表彰する。

1 位： 優勝カップ、優勝旗、盾、メダル（16 個）、ボール

2 位： 盾、メダル（16 個）、ボール

3 位： 盾、メダル（16 個）、ボール 2 チーム

\* 大会事務局（窓口） 小笠原 保

## 東葛地区少年サッカー大会

### 東葛リーグ戦4年生以下の部サッカー大会 実施要項

趣 旨	将来をになう少年たちのサッカーへの興味・関心を深め、さらに技術の向上と健全心身の育成・発展を図ることを目的とし、東葛地区少年サッカー連盟・加盟チームの全てが参加できる大会として本大会を開催する。この大会は、少年たちがサッカーを通じて身体を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強くそして想像力豊かな人間の育成を目指すものである。
名 称	東葛地区少年サッカー大会 東葛リーグ戦4年生以下の部サッカー大会
主 催	東葛地区少年サッカー連盟
主 管	東葛地区少年サッカー連盟 (我孫子市地区、印西市地区、白井市地区)
後 援	読売新聞、千葉北部、西部読売会
参加資格	東葛地区少年サッカー連盟に加盟登録した団体(チーム)で、所定の用紙にて本大会参加申込み手続きを終えたチームであること。上記団体(チーム)に所属する選手である事。参加は1クラブ複数チームでも可とするが、当該学年未満のみで構成されたチームの参加は認めない。 <u>エントリー終了後の選手の入れ替えは認めない。</u>
参 加 費	3,000円(1チーム)
期日及び	予選リーグ戦 5月～11月14日(月)までに各主管チームにて、終了の事。
会 場	決勝トーナメント戦 平成28年11月26日(土)我孫子市利根川ゆうゆう公園サッカー場 平成28年12月3日(土) 同上
	予備日 11月27日(日)・12月4日(日)・10日(土) 同上
	ベスト4 平成28年12月中旬 開催場所後日連絡
チームの	チームの構成は引率指導者3名以内、選手21名以内である事。(予選は除く)
構成と条件	A) 引率者は当該チームを掌握指導する、責任ある指導者である事。 B) 選手は健康であり、かつ保護者の同意のあるものに限る。 C) 参加全チームはスポーツ傷害保険に必ず加入している事。 D) 参加全チームは、審判員を2名帯同している事。
競技規則	① 11人制サッカーとする。試合時間は40分間(前・後半各20分間、ハーフタイムは5分)とする。 ② 予選リーグ勝点方式(勝:3点・引分け:1点・負:0点)勝点が同じ場合は、得失点差、総得点、直接対決成績、さらに決しない場合は5人によるPK方式で決める。 ③ 決勝トーナメント戦の引分けはPK戦方式で決定する。但し、決勝戦は10分(5分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式とする。 ④ 参加クラブは年度始めに大会参加申込書(所定用紙)を提出の事。 ⑤ 複数エントリーチームは、抽選日以前の定められた期日までに事務局へメンバー表を提出し、試合毎に「事務局へ提出したメンバー表」と同じものを主管チームまたは主管地域へ提出し、メンバー確認を行う。 複数エントリーチームの新規追加選手については、会場責任者に「エントリー選出追加願い」を提出し、承認を得る。控えは毎試合持参する。(予選リーグのみ適用) ⑥ 選手はいかなる理由であっても、チームをダブって出る事は出来ない。 ⑦ 選手の交代は、予選リーグ戦は選手全員がベンチ入りでき、自由な交代を適用する。 (一度退いた競技者も再び出場でき、何回も交代可能とする)

決勝トーナメント戦でのベンチ入りできる選手は21名と指導者3名とする。

ピッチでの練習も同様とする。交代は自由な交代を適応する。

⑧ 予選リーグ1位、2位のチームにて決勝トーナメント戦を実施する。

⑨ その他のルールは2016年度(公財)日本サッカー協会の競技規則に準ずる。

但し、以下の項目については、特に本大会規則として定める。

⑩ A)ピッチサイズ:長さ80m 幅50m

但し、試合会場の大きさにより変更は可能とする。

B)ペナルティーエリア: 12m

C)ペナルティーマーク: 8m・ペナルティーアークの半径: 7m

D)ゴール: 内のり縦2.15m、横5m

E)ゴールエリア: 縦4m・センターサークル: 半径7m。

(B～E: やむなく使用会場のサイズを適用する事もある)

F)ポール: 4号縫いポール。

G)スパイクは使用可。(ただし固定式) すね当てを着用する。

⑪ 決勝トーナメント進出チームは自チーム最初の試合時までにエントリー表(最大30名)、メンバー表(3部)を提出し、メンバー表は試合毎に提出する事。

試合の

① 予選リーグの審判は試合を行っていないチームが行う。

運営方法

② 決勝トーナメント戦の第1試合目は第3試合目の両チームが責任をもって審判する事。以降は試合が終了した両チームが責任をもって審判する事。但し、決勝戦は3位チームで行う。

③ 審判は試合前の打ち合わせを、前の試合のハーフタイムから始める事。

又、試合後は報告を主管チーム責任者に報告し、主管クラブは予選リーグ終了後速やかに連盟・事務局に文書で報告(メール可)の事。

④ 予選リーグ戦の選手のベンチ入りは自由とするが、決勝トーナメント戦はエントリー表に記載された選手21名以内、指導者3名以内とする。

⑤ 決勝トーナメント戦ピッチの試合前の練習はエントリーされた21名と指導者3名までとする。 決勝トーナメントより、試合毎にメンバー表を3部提出する事。

⑥ 累積警告2回は、次の試合は出場停止とする。退場の場合は、次の1試合を出場停止とする。

⑦ 怒鳴ることがないようにしましょう(保護者や応援の人は指示をしない)。

⑧ ケガについて応急処置は行うが、その後は各チームの責任において行う事。

⑨ 参加チームはユニホームを正副2着、を用意する(GK・ストッキング含む)。

⑩ 会場内は全て禁煙とする。喫煙所が指定されている場合はそれに従う事。

⑪ 会場へは公共交通機関を利用して下さい。やむを得ず車利用の場合は、1チーム5台以内とし、車のフロントにチーム名を必ず記載する事(厳守)。

表彰

1位から3位まで表彰する。

1位: 優勝カップ、優勝旗、盾、メダル(21個)、ボール

2位: 盾、メダル(21個)、ボール

3位: 盾、メダル(21個)、ボール 2チーム

\*大会事務局(窓口) 小笠原 保